

ご支援者、ご協力者の皆様へ

## 企業メセナ協議会助成認定の報告

那須クラシック音楽祭実行委員会 代表 矢野晴子

この度(本年12月10日)、公益社団法人企業メセナ協議会より、私どもが企画運営する「那須クラシック音楽祭 コンサート&アカデミー」(開催時期、2020年9月6日~9月22日)が、**芸術・文化の那須地域への普及向上に資する活動、および芸術・文化による那須地域社会の創造に寄与する活動**と認定されました。

1. **企業メセナ**(仏語、芸術文化支援の意)**協議会とは**、日本では、「日仏文化サミット'88~文化と企業」を契機に1990年に発足しました。その際、「企業が社会貢献の一環として行う芸術・文化支援活動」ということで「メセナ」という言葉を導入。同協議会の会員には日本でも有数の企業、団体が名を連ねており、その運営は会員企業のトップに位する経済人、企業人が担っています。そして同協議会では、さまざまな公益目的の事業を展開していますが、その中の「**助成認定制度**」は、芸術・文化活動に対する個人、企業の寄附を、税制面で優遇する仕組みです。

2. **助成認定制度に「応募申請した理由」**、

- ① メセナの認定取得により、「那須クラシック音楽祭」事業の信頼度、周知度を高めることにより、地域住民、地元関連企業並びに各種団体への理解を促進する。そして一層の支援・協力を得て、事業の安定を図り、その継続性を期す。
- ② メセナの認定を受ける過程において、特に同協議会の審査指導により、当事業の目的、企画に対する公益目的並びに地域貢献の内実をより一層深めて、将来はこの那須地域における風物詩的な催しと成ることを目指す。

3. **那須クラシック音楽祭の特色(公益目的事業)**

音楽祭オープニングの「第九」の演奏は、栃木県出身者の第一線で活躍している音楽家並びに那須地域と所縁のある音楽家のプロ集団と、地域住民から参加のアマ演奏集団との混成オーケストラ(弦楽亭室内オーケストラ)であり、また合唱団もその多くは地域住民で構成されています。中には「第九」をはじめて歌う人もいます。

また、音楽祭期間中、那須地域の観光施設複数箇所で催す無料コンサートは、地域観光振興に少しでも寄与できないかとの私どもなりの試みです。

さらに、若手演奏家育成のために当音楽祭出演の一流の演奏家によるアカデミーを開校。器楽別にジュニア世代の特別レッスンを行います。那須に集う若者達が、日本の、いや世界の舞台に大きく羽ばたいてゆく・・・そんな夢を一緒に画いてみませんか。

当音楽祭が那須地域の文化発展、普及向上に、また創造的で活力ある未来への人造り、街造りに貢献し得ること、それは運営者一同の目指し、願うところでもあります。

4. 「**助成認定制度の仕組み**」の詳細はあらためてお知らせします。